Mother Lake Goals

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

滋賀県は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

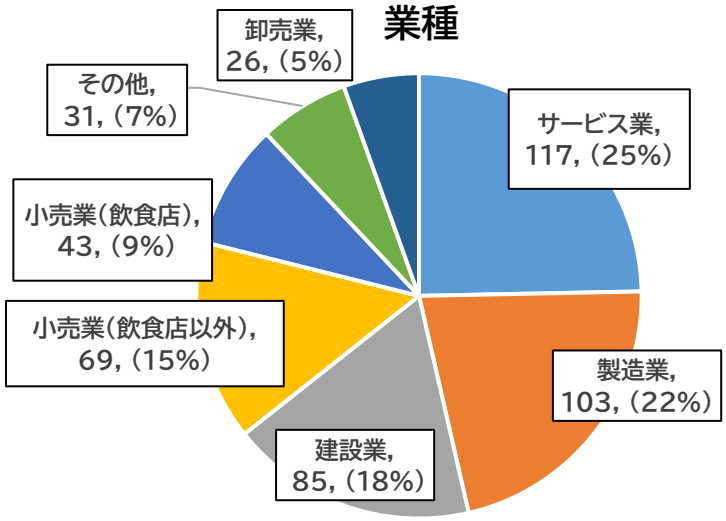
資料02

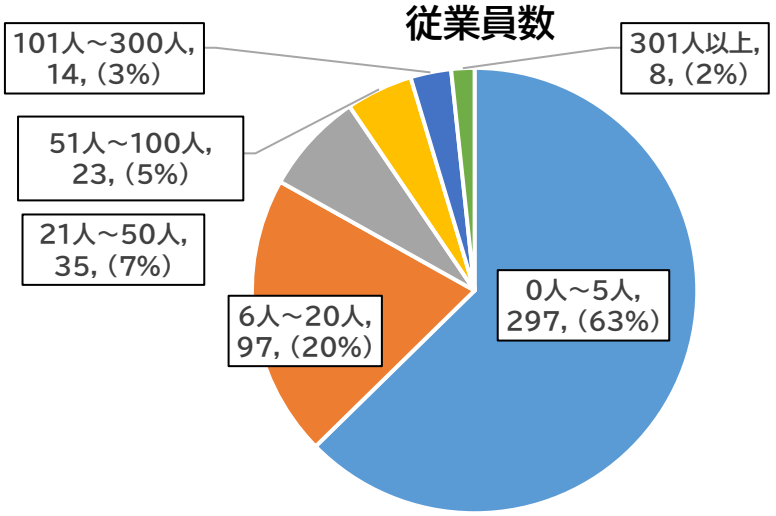
今後の中小企業活性化施策の方向性について

令和８年10月

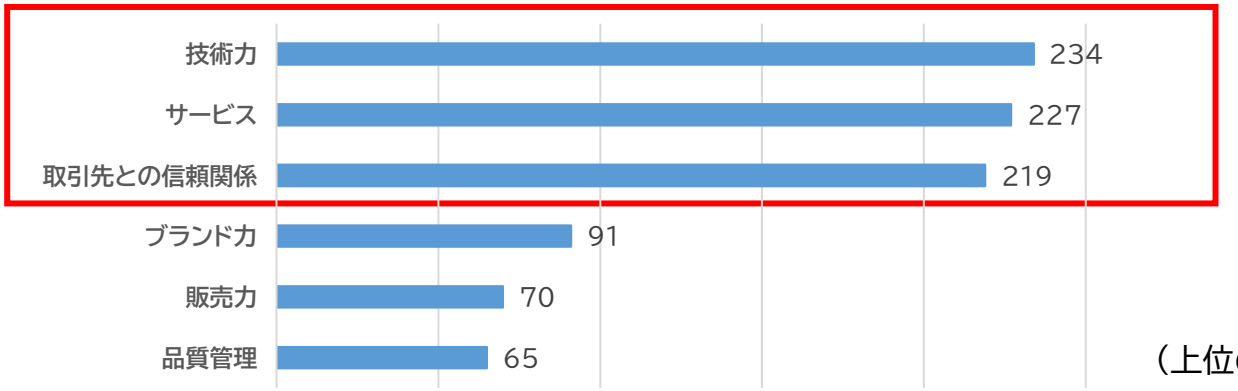
令和8年度中小企業に対するアンケート【一部抜粋】①

毎年5月、県内中小企業850社（商工会・商工会議所・中小企業団体中央会の会員企業）を対象とするアンケート調査を実施。令和8年度は474社が回答（回答率55.8%）





①自社の現在の強み（複数回答）

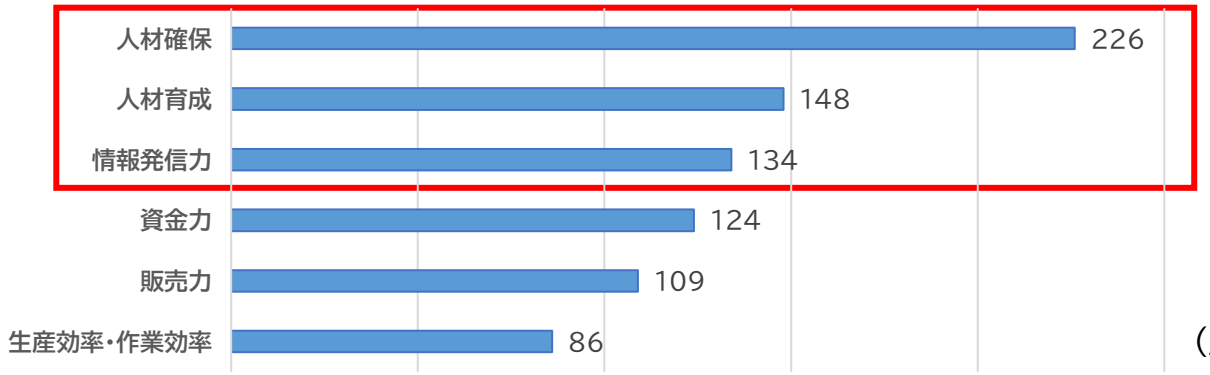


（上位のみ抜粋）

⇒昨年に引き続き「技術力」が最多。「サービス」・「取引先との信頼関係」も多い。

令和8年度中小企業に対するアンケート【一部抜粋】②

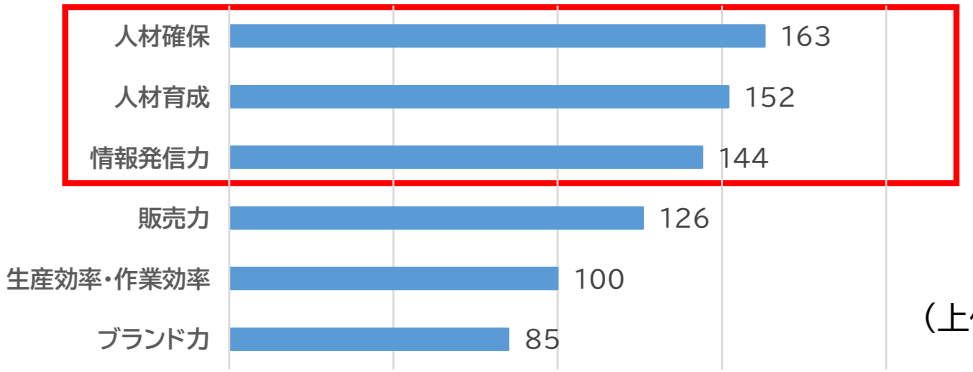
②自社の現在の課題（複数回答）



（上位のみ抜粋）

⇒昨年に引き続き「人材確保」が最多。「人材育成」・「情報発信力」も多い。

③ 今後強化したいもの（複数回答）



（上位のみ抜粋）

⇒昨年に引き続き「人材確保」が最多。
自社の現在の課題と同じく、「人材育成」・「情報発信力」の順に続く。

令和8年度中小企業に対するアンケート【一部抜粋】③

現在の課題に関して、課題の解決に向けて必要と考えること（自由記述）

【人材確保および人材育成】

・ 若年層に魅力を感じてもらえるような職業としての魅力を発信し人材確保につなげたい。（製造業、従業者数6～20人）

・ 事業承継に向けて、外部及び身内からの候補者の人選など、必要なことのリストアップが必要。（卸売業、従業者数0～5人）

【情報発信力および販売力】

・ 販売力と市場占有率について、従来のやり方にとらわれず、SNSやAIを使用するといった最新の技術や仕組みを活用し、様々な取組を行いたい。（製造業、従業者数0～5人）

・ 専門家の支援を受けブランド力を高め、情報発信により集客を強化する必要性を社員が共通認識し、それぞれの立場で努力することが重要と考える。（サービス業、従業者数0～5人）

【デジタル化・DXの推進および生産効率・作業効率向上】

・ 取引先に応じたIT化・DX化の対応。それに伴う人材育成ができていない。（製造業、従業者数6～20人）

・ 会社全体としてAI関連の技術の活用について学習したい。（サービス業、従業者数6～20人）

【資金力・その他】

・ 物価高、中東情勢による物資不足の影響で、通常営業が困難になった際、運転資金などに利用可能な低金利融資制度や助成金を活用したい。（製造業、従業者数0～5人）

今後の中小企業活性化施策において重視すべきキーワード（案）

昨今の経済・社会情勢、中小企業に対するアンケートを踏まえ、今後の中小企業活性化施策において重視すべきキーワードを、中小企業活性化推進条例第8条に規定する中小企業活性化施策の基本（施策1～4）に照らして分類

＜　経済・社会情勢、中小企業アンケート結果より抜粋　＞

AI・AX　物価高・賃上げ　人手不足
インフレ・金利のある世界　円安の進行　GX・脱炭素
技術革新　地政学的変化・経済安全保障　インバウンド
購買人口の減少　など

施策の基本①「新たな挑戦、地域社会の課題解決の取組」

中小企業×スタートアップ　イノベーション
海外展開　DX・AX
脱炭素・CO2ネットゼロ

施策の基本②「人材（ひとづくり）に関する取組」

人材確保・定着・育成　リスキリング
ジェンダー平等　多様な人材の活躍
働きやすい職場づくり　カスハラ対策

施策の基本③「経営基盤の強化に関する取組」

事業承継　危機管理・サイバー攻撃
生産性向上　価格転嫁　産学官金の連携
資金繰り　支援機関の連携

施策の基本④「産業分野の特性に応じた取組」

地場産業・産地の活性化　成長産業の振興
観光・インバウンド需要の取り込み
産業立地